

2023年3月8日（水曜）

全労金2023春季生活闘争ニュース・第11号

～勝ち取ろう賃金改善！“みんなの春季生活闘争”で生活不安を払拭しよう！～

連合に結集する仲間が、2023春季生活闘争のヤマ場に向けた決意固めと、
政策・制度の要求実現に向けてアピール！！

◎連合「2023春季生活闘争 政策・制度 要求実現 3.7中央集会」を開催しました！

連合は3月7日（火）、2023春季生活闘争のヤマ場（3月14日～16日）に向けて「回答引き出し」の決意固め、及び、「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向けた政策・制度要求実現へのアピールを目的に、「2023春季生活闘争 政策・制度 要求実現 3.7中央集会」を開催しました。

本集会は日比谷公園大音楽堂とオンライン（YouTube Live配信）によるWEB併用開催となりましたが、全労金からは計10名（専従役員5名・中央労組2名・ろうきんセントラル労組3名）が現地に集合参加をしました。集会全体では、集合とWEB参加をあわせて、全国から2,472名の仲間が結集し、「回答引き出し」「満額回答」に向けて、最後の最後まで諦めないという熱い決意固めがされました。

◎芳野中央闘争委員長のあいさつ

芳野中央闘争委員長は、「個人消費が低迷し、コロナ禍からの回復スピードが遅い中において、企業・家計では、デフレマインドが根強く残っている。家計においては、賃金が物価上昇に追いつかず、企業では適切な価格転嫁が進まない等の問題がある」と述べ、「経済の後追いではなく、経済・社会の原動力となる『人への投資』をより一層積極的に行うとともに、日本全体の生産性を引き上げ、成長と分配の好循環を持続的・安定的に回していく必要がある。

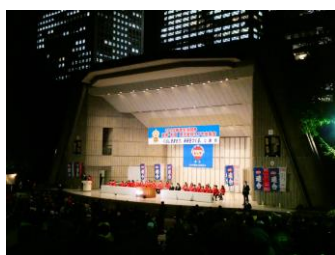
今次闘争では『未来づくり春闘』を深化させ、ステージを変える転換点とする必要がある。物価上昇によって働く仲間の生活は苦しくなっており、賃上げへの期待は大きい。とりわけ、生活がより厳しい層への手当てが不可欠であり、規模間、雇用形態間、男女間の格差是正を強力に進める必要がある。最後の最後まで団結して2023春季生活闘争に立ち向かっていこう」と力強く決意を述べました。



《芳野中央闘争委員長》

◎政策・制度の実現に向けた要請書を、立憲民主党・国民民主党へ提出！

中央集会の前段に、「アピール行動」として、日比谷公園から国会まで請願の行進をしたうえで、連合「2023春季生活闘争方針」において確認された政策課題について、両党に要請をしました。要請内容は、①現下の経済・社会情勢を踏まえた2023年度予算編成と2023年度税制改正実現、②価格転嫁や取引の適正化につながる諸施策の実効性の向上、③すべての人が安心して働き暮らせるよう、社会保障制度の充実・確保、④すべての労働者の雇用の安定・人への投資拡充、⑤あらゆるハラスメント対策と差別禁止、⑥学校現場における教職員の負担軽減、の6項目を要請しています。



《中央集会の様子》



《議員団への請願の様子》



《国会までの行進の様子》

◎現場からの訴え！

有期・短時間・契約等で働く仲間の代表として、鶴野氏（自治労千葉県臨時非常勤等職員協議会議長）からは、「千葉県で働く保育士約 623名の内、半数が会計年度任用職員として行政サービスを担っており、雇用（雇い止め）の不安や正職員との賃金・休暇制度等の違いも是正されていない」ことを訴え、「今後も仲間とともに交渉を積み重ね、安心して働き続けられる職場環境・労働条件を勝ち取っていく」と決意を述べられました。

◎集会アピール（案）の提起・採択、がんばろう三唱！

福田中央闘争委員（JP労組中央執行委員）が提起した集会アピール（案）を全体で採択しました。最後は、清水中央闘争事務局長のリードに合わせ、「がんばろう三唱」で集会を締めくくりました。

以 上

《全労金のSNSでも紹介しています！》

☆ 全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>)



☆ 全労金Facebook (<https://www.facebook.com/zenrokin>)



※次号は3月9日に発行します！